

公表

## 事業所における自己評価結果 児童発達支援

事業所名		公表日 令和8年5月				
やすらぎの里北小岩もあ						
	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			活動量の多い子がいる日はやや手狭に感じる。	動線を考えて工夫をしていく
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			通所の子どもと同じ人数又は少し多くしているので適切だと思う。	子どもの人数に対して職員が多く感じる時がある。安全面ではよいが、先回りをした支援にならないよう、留意していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			トイレの間々が訓練室と音が響き合っていたり、壁紙も子ども向けになっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			・毎朝の掃除の他、都度拭き掃除をしていると思う。 ・季節に応じた装飾をしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2		・個別の部屋ではないが、落ち着けるスペースはあると思う。 ・隣に空いている部屋がある為、必要時には使用できると良いと思う。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			・全員での振り返りの時間があまり持てないが、空いた時間を見つけて話合っている。 ・振り返りできる時間があると思う。 ・以前、午後の昼寝の時間帯に全員でカンファレンスを行い、皆で振り返り、共有し今後のケアにつなげる事ができていた。今後もこのような時間がとれると、良いケアにつながるのではないかと感じる。 ・定期的に振り返りや話し合いをしている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			・面談を行い改善につなげている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1			全員参加の会議は難しいが、事前に意見を聞くなどの対応を取り、内容を共有できるようにしていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7			今後受審を検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			新しい利用児が増えた為、救命救命などの研修が必要だと思う。	
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			いつでも確認できるようになっていていいと思う。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			子どもの成長段階に合わせて、その時の課題や目標を定めている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		1		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	77				必要に応じて保護者や相談員、他事業所・保育園などと情報共有をしている。

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を見つけて保育士で決めているが、活動の立案を話し合う時間を定期的に設けたい。</li> <li>・保育士でもう少し相談できる時間があると思う。</li> <li>・立案は保育士が行っている事が多い。</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			朝礼で確認できている事はいいと思う。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4		気付いた点を共有できる時間を増やしたい。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	1	該当児なし	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—	—	—		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—	—		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達支援センターの訪問コンサルテーションを受け、助言をもらった。</li> </ul>	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩時にあり</li> <li>・散歩で他園の子ともと交流を持てる機会があるのはいいと思う。</li> <li>・散歩の際に保育園児と挨拶・やり取りを交わす場面がある。交流などの機会を増やしていけると良いと考える。</li> <li>・散歩の時に会う事があるが、他は触れ合う機会は少ないと思う。</li> </ul>	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・気になる点がある時にはすぐに保護者とやり取りをしている。</li> <li>・連絡帳や必要に応じて電話で伝えられている。</li> </ul>	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	1	時々、親が見学に来ている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7					

保護者への説明等

非常時等の対応

36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		1	脱臼をしないように座って吸引をしたり、関節が固まらないようクッションや補助具を使用している。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		2	保護者と定期的に連携をとっている。
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	1	・きょうだい間は設けていない ・夏祭りやイベント時に部屋を開放して保護者同士で交流をもてる場をつくれていると思う。 ・お祭りの際、保護者の方々の部屋でそれぞれ積極的に情報交換をしている様子が見られた。 このような機会が必要とされていると感じる。 ・祭りの時に保護者同士が話を合わせる事はあがり、父母の会が不定期でも行われると良いと思う。
40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			ブログ・インスタ・もあmore通信で発信している。
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		1	
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		1	・定期的にできていいと思う。 ・抱っこ紐を使った訓練など、より実践に近い形で訓練をする必要を感じる。
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		2	
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		・該当児なし
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		・ヒヤリハットを記録だけでなく朝礼で対策も含めて共有している。 ・共有はしているが、方策についての検討はしていないと感じる。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			定期的に委員会の開催・研修を行っている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			・保護者に説明している。